

6. 7月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



6/5 最初に全隊で中野駅前で熊本地震の募金を行いました。ビーバー隊はボーイ隊のお兄さんお姉さんたちと一緒に班を作りました。

ちいさなスカウトが一生懸命頑張ると、募金箱には道行く人々からの厚意がたくさん寄せられ、たくさんの募金が集まりました。なかのZEROに戻ってからは、活動体験会に集まった、小さいお友達を含めた14人の仲間と一緒に



に、草花の観察をしたりザリガニ釣りをしたりして楽しみました。

6/19 カブ隊と一緒に、活動体験会を兼ねた野外調理ハイキングに三鷹市の野川公園まででかけました。ビーバー隊は体験参加した、小さなお友達を含めた16人の仲間と一緒に、まずはお料理の食材探し。チェックポイントにいる妖怪スカウト(?)のお兄さんお姉さんたちと対戦して、無事に食材を受け取りました。それからペットボトルを使ってお米をとき、レタスをちぎってサラダ

作り。きゅうりのスライスも頑張りました。カブ隊のお兄さんお姉さんたちが作ってくれるカレーがぐつぐつ出来上がるまでゲームをして遊んでいたら出来上がり。外でみんなで食べるカレーはとてもおいしかったです。午後は自然観察をして、おやつには焼きマシュマロ。枝の先にマシュマロを刺し、火にかざして温めて食べました。とろっと溶けるマシュマロとたき火の火に興味深々のスカウトたちでした。またこの場で、新しいスカウトの入隊式も行いました。駅からの往復もしっかり歩き、1日たっぷり楽しみました。



7/3 梅雨時期の7月は「とっても暑い」か「雨」



の天気。ひき続き体験参加のお友達と一緒に、最初に少し町中を歩いて、暑さを感じながら夏の自然探し。それから室内に戻ってきて、少しでも涼しさを感じようと、風鈴作りをしました。きれいな飾りを付けたり、七夕の願い事の短冊をつけたすてきな風鈴が出来上がりました。

7/10 ひき続き夏らしい日の集会です。ひき続き体験参加のお友達と一緒に、公園でしゃぼん玉で遊びました。最初はストローでしゃぼん玉を膨らまして

いましたが、だんだん、骨だけの団扇を使った量産や、針金ハンガーを広げた大きなシャボン玉への挑戦など、スケールが大きくなっていきました。最後は大きな針金でリーダーが、子どもが入れるくらいのしゃぼん玉作りに挑戦！なかなか難しい作業でしたが、なんとかしゃぼんだスカウトの全身が隠れるくらいの高さのシャボン玉ができました。

7/24 6月からの活動体験を経て4人の新しいお友達が入隊式を行い、新たにスカウトの仲間入りをしました。





の集会の醍醐味です。

その後は引き続き体験参加のお友達と一緒に、アイスクリームの時間！でも普通に食べるのではありません。いろんな種類のバニラ味アイスや、ミント、オレンジ、グレープ・・・といったくだもの味のアイスクャンデーや、トッピング(チョコ、クッキーなどなど)を自分で好きなように混ぜて食べてみました。組み合わせを考えずに欲張ると、それぞれがおいしい味もなんだかおかしいことに・・・おかしいことになりそうな時は他の味を混ぜたら大丈夫になりました。家庭ではなかなかできない、大人数ならではの混ぜ混ぜアイス。夏

(夏季家族キャンプの報告は8月の活動報告[おしらせ 10月号]でご連絡いたします)

カブ(CS)隊



6/5 全隊でのユニセフ募金から始まりました。駅改札前の場所が使用できず、少し離れた場所での募金活動になりました。人通りが少ない中でしたが、大きな声を出して呼びかけを行い、街ゆく皆様からの支援をいただきました。そのあとは、小刀を使う訓練をしました。まずは、練習として鉛筆削り。慣れたところで、



今日の集会の本題のペットボトルとストローで弓矢を作りました。木とは少し勝手が違うので、小刀の使い方も難しかったのですが、よく飛ぶ弓矢ができました。時間があまりなく、試技があまりできなかったのが残念でした。

6/19 ビーバー隊と一緒に活動体験会を兼ねた野外調理ハイキングに三鷹市の野川公園まででかけました。2人のお友達が参加してくれました。公園に着いてみると、ベンチャー隊が用意してくれていた調

理の材料が妖怪に盗まれてしまったとの事！そこで、調理に取り掛かれ前に公園内を捜索し、妖怪を見つけて材料を取り戻すことから始まりました。無事に、材料を取り戻せたあとは、焚き木集め。たくさん集まり、事前に用意した薪を使わずに済むほどでした。そのあとは、いよいよ調理の始まり。全参加者分のカレー作りを担当したので、たくさんの野菜を切りました。



食後のゲームは「しっぽ取り」です、リーダー対スカウト、1組対2組、ベンチャーやローバースカウトの助っ人も加わり、思い切り走り回りました。

7/3 オリンピックを前に、世界の国について調べました。まず、自分たちが名前を知っている国名を挙げ、それが地図上のどこにあるかを調べました。そして、その国の国旗を地図に貼り、オリジナル地図を作りました。

7/10 スカウト技能の中で、「計測」は大切な要素です。

カブの年代のテーマは、定規を使わずに身体や身近にある物を使って長さを測ることに慣れること。今日の集会では、自分の歩幅や手を広げた時の長さがどれくらいなのかを調べました。身長差が結構あるので、一步の長さが一人ひとり結構異なることを発見しました。

7/24 夏のキャンプの説明を受けました。今回の全員が、カブ隊としてのキャンプは初めてです。渡された「キャンプのしおり」を見ながら、リーダーからどんな場所に行くのか、どんなことをするのか、そして持ち物の注意について説明を受けました。

6月からの体験活動を経て、1人のお友達が仮入隊式を行いました。今後、『りすの道』を履修し、入隊式となります。

7/31 本来は活動のない日ですが、夏季キャンプの説明をした前回の集会をお休みしたスカウトを対象に、キャンプの説明会を行いました。



(夏季キャンプの報告は8月の活動報告でご連絡いたします)

ビーバースカウト、カブスカウト募集中です。 お知り合いへのお声かけ、ご紹介をお願いします。

ボーイ(BS)隊



6/5 まず午前中には全隊でのユニセフ募金を行いました。それぞれ数名づつに分かれ、ビーバー隊やカブ隊のグループについて、年少の子たちの募金をサポートしました。その後はもみじ山公園に行き、体験集会でロープ結びの練習を兼ねて、竹でみこし作りを行いました。



6/19 班集会を行いました。竹を使って、野外工作で使うロープ結びの練習を行いました。

6/25 なかのZEROで行われた「育フェス」の奉仕を行いました。会場案内やベビーカーの整理など、来場したお客様が快適に過ごせるようサポートしました。

6/26 地区の救命救急講習会に5名のスカウトが参加しました。ターゲットバッジ「救護」を修得できました。

7/3 夏季キャンプに向けて班会議を行いました。来週行われる野外班集会で作成する

「立ちかまど」の設計図を作成しました。

7/10 八王子のひよどり山キャンプ場にて、野外隊集会を行いました。野外工作で作成した「立ちかまど」は夏キャンプでも作りま



す。崩れない丈夫な立ちかまどにしなければキャンプは乗り越えられません。設計図だけだと理解できていた部分も、実際に作るとうまくいかないようで、最初は苦労していましたが、最終的には立派な立ちかまどが出来上がりました。この調子で本番



も立派な立ちかまどを作成してほしいです。

7/24 集会の冒頭でビーバー隊・カブ隊の入隊式に参列しました。その後は、8月に行われる夏キャンプに向けたしおりの読み合わせと、野外工作で作る工作物の設計図を組み立てました。

7/31 夏季キャンプに向けて備品整理を行いました。また午後にはKくんの2級進級面接が行われ、無事に2級スカウトとして認められました。

(夏季キャンプの報告は8月の活動報告でご連絡いたします)

ベンチャー(VS)隊



6/5 Oさん、Tくん、Fくんがビーバー隊・カブ隊の活動体験会を支援し、初めて参加した小学校低学年や幼児の活動参加の手助けをしました。

6/16 OさんとMさんが隊運営会議を行い、今後の活動や隊員の進捗状況について話し合いました。

6/19 TくんとFくんが、ビーバー隊・カブ隊の活動体験会を兼ねた野外調理ハイキングを支援しました。まずはチェックポイントで小さなスカウトや体験参加のお友達相手に妖怪スカウト(?)に扮し、その後は野外調理のかまど管理。調理後はカブ隊のゲームに参加して一緒に走り回りました。体験参加の付き添いの保護者の方々に、小さな頃からのスカウト活動を経て成長した姿を見ていただくことができました。

7/12 TくんとFくんがプロジェクト会議を行い、地区フォーラムに向けた準備を行いました。



た。

7/24 あすなる地区で行われたベンチャーフォーラムにTくんとFくんが参加しました。「ベンチャー年代の魅力ある活動とは」をテーマに、初めて出会うベンチャースカウトと議論しました。四月に上進したばかりの二人にとって、今回の内容は正にこれからの活動に向けてピッタリの内容でした。多くのスカウトと交流し、幅広い分野の中から高度な活動を展開して

ほしいですね。

7/31 夏季キャンプに向けて備品整理を行いました。

ローバー(RS)隊



6/5 Nさん、Oくん、Yくんがサポートしました。自隊(BS隊)の集会での指導の他、ビーバー隊の多くのゲストのケア、また保護者説明会で自分たちのこれまでのスカウト活動による経験を語りました。3名はそれぞれ多様な経験の元に活動しているので、保護者の方々にも個人の興味の方角性による活動の広がりをご理解いただけたと思います。

6/7 第50回東京連盟ローバー100kmハイイクのユース実行委員会が行われ、Nさんが、今年のローバースカウト実行委員長として参加しました。

※東京連盟ローバー100kmハイイク…ローバースカウトが運営し、ローバースカウトが都内のチェックポイントを周り24時間以内に100kmを歩く行事。11月に開催。

6/19 ビーバー隊・カブ隊の活動体験ハイキングに、NさんとOくんがサポート参加しま

した。ベンチャー隊の2名と一緒に、冒頭にはチェックポイント担当、その後は野外調理のかまど管理を担当しました。

6/26 Nさんがガールスカウト(GS)の友人と計画した、ローバー年代のあすなろ地区ボーイスカウト・ガールスカウト交流会が、八王子のひよどり山キャンプ場で行われました。他地区からの参加者も含め、普段は全国規模のイベントでもない限りあまり交流のないローバー年代のBSとGSの交流会、今後も続けていきたいものです。大学生年代の男女の交流といえば合コン? 昼間のキャンプ場で行われるものもあるんですね!



6/28 東京連盟でローバースカウトミーティングが行われ、あすなろ地区からNさんが、地区代表(杉並13団RS)と一緒に参加しました。またその後、第50回東京連盟ローバー100kmハイクの実行委員会が行われ、ユース代表としてNさんが参加しました。



7/10 ボーイ隊野外班集會にNさん、Oくん、Yくんが参加し、ボーイ隊のスカウトたちへのアドバイスの傍ら、横で信号塔骨組みを制作しました。自らのスキルアップと後輩たちへの指導および技の伝達など、ローバースカウトには様々な役割があります。

7/11 第50回東京連盟ローバー100kmハイクの実行委員会部門別会議が行われ、Nさんが参加しました。

7/16 あすなろ地区ローバースカウト定例会が行われ、Nさん、Oくん、Yくんが参加しました。

7/24 8月にアイルランドからローバースカウトが何名か訪れ、3週間ほど日本に滞在する予定になっていて、この受け入れを神奈川連盟が担当しています。Nさんは2年前に日本連盟主催の「アイルランド英語研修・キャンプスタッフ派遣」に参加し、5週間現地に滞在してアイルランド連盟とは縁があるので、この受け入れ事業に参加することにしました。横浜市内で受け入れ準備会議が行われたので参加しました。

7/28 東京連盟でローバースカウトミーティングが行われ、Nさんがあすなろ地区代表と一緒に参加しました。

6, 7月のスカウト進歩情報

BVS:	K. A. さん	小枝章1
	R. K. <くん	小枝章1
BS:	R. K. <くん	マスターバッジ「救護」
	G. S. <くん	マスターバッジ「救護」
	K. T. <くん	マスターバッジ「救護」
	K. H. <くん	マスターバッジ「救護」
	T. M. <くん	マスターバッジ「救護」
VS:	Y. F. <くん	ベンチャー章



ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

6月の活動体験野外調理ハイキングで、お子さんにも保護者にも好評だったのが、焼きマシュマロ。子供は、自分で枝を火にかざすのが楽しい！大人もそんなわが子の姿を眺めたり写真に収めたり、一緒にふわふわのマシュマロを味わったり。溶けて落ちちゃった！焦げちゃった！と、野外調理は盛り上がりました。ちよつとしたことのように実は普段の生活の中ではなかなか体験できないこと。それができるのがボーイスカウトです。



リーダーの活動

- 6/2 地区円卓会議
- 6/7 団会議
- 6/17 地区委員会
- 6/23 地区協議会
- 6/27 地区各種委員会
- 7/3 団会議
- 7/7 地区円卓会議
- 7/9 地区研修所事前研究会
- 7/9-10 東連ミツヨチ集会
- 7/14 地区 VS フォーラム事前打合せ
- 7/17 夏キャンプ下見
- 7/21 地区委員会
- 7/24 地区 VS フォーラム奉仕
- 7/31 団会議

- * 活動の写真はホームページにアップされています。
- * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>
(最近滞っています。申し訳ありません・・・)
- * Facebook アカウントをお持ちの方は、8団公式アカウント Nakanoeight BoyScout に友達申請していただくと、このアカウントで集約・限定公開している写真を随時御覧いただけるようになります。

スカウト豆知識

「そなえよつねに」と「いやさか」

スカウトのモットー(規範)は『そなえよつねに』(備えよ常に)。英語では Be Prepared といいます。世界各国のボーイスカウト共通のモットーです。「備えあれば憂いなし」のことわざと同じ意味ではありますが、モットーはそれよりももっと積極的に解釈し、「いつでも準備はできているぞ、さあこい」というものです。モットーの実践は、ちかいとおきてを守り、日々の善行を実行することによってできるもので、このためには、日常の訓練に励むことによってスカウト技能を十分に研究し、繰り返し練習して自分のものにしておくべきと言えます。現在のスカウティングに励み、積みあげることが未来への準備になることだということを忘れてはなりません。なお、ビーバースカウトのモットーは『なかよし』、カブスカウトのモットーは『いつも元気』です。

『いやさか』は日本古来の言葉で“弥栄”と書き「ますます栄える」という意味です。ボーイスカウト日本連盟が設立されたころに日本の指導者の育ての親であった佐野常羽氏が、イギリスの研修所で日本の祝声を披露する機会に「いやさか」を使ったことに始まります。いやさかの声や意味がスカウトの祝声としてたいへんよいことから、万歳のかわりに相手を賞賛するときなどに使います。